

公表

## 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	伊勢市おおぞら児童園			
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	168	(回答者数)	144
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(保育士・ST・OTなど)が連携し、一人一人のこどもに合わせて環境設定を行い、療育(あそび)を提供しています。	多職種で様々な視点から意見を出し合い、こどもの発達段階や発達特性に合った環境設定やあそびを検討し、活動内容を計画して療育を実施している。	多職種で連携した療育を継続していきます。また、今以上に、こどもが通っている保育所や幼稚園などへ見学に行く等して情報共有をし、療育内容を検討していきます。
2	ペアレント・トレーニングを実施したり、その要素を取り入れて保護者支援を行ったりしています。	ペアレント・トレーニングの実施だけでなく、分かりやすい資料を作成し、それをもとにこどもの関わり方を伝えています。また、職員がペアレント・トレーニングの考え方を共通理解し、保護者支援に活かしています。	引き続き、ペアレント・トレーニングなどを実施し、保護者支援をしていきます。
3	定住自立圏域の職員の資質向上のため、事業所向け研修会を実施しています。	事業所向け研修会では、専門的・人権的な内容等、幅広い視点を取り入れ実施しています。	さらに多面的・深掘りした内容の研修会となるよう講師を選定し、事業所向け研修会を実施していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や地域の中で他のこどもと接する機会がありません。	新型コロナウイルス感染症の流行以降、保育所等との交流を中止しています。	感染症の流行状況をみて、交流会の再開を検討していきます。
2	きょうだいの発達の相談にのることはあるが、きょうだい支援としての精神的な支援などは難しい。	きょうだい支援の必要性は理解しているが、現在の職員体制では、新しいきょうだい支援の取り組みは難しいです。	同行したきょうだいにあそび(玩具等)を提供したり、声をかけたりしていくことで、きょうだいの理解・啓発につなげていきます。
3	保護者への情報発信が不十分です。	おおぞら児童園のホームページに自己評価の結果など掲載していますが、ホームページがある事を十分周知できていません。	ホームページがある事を保護者に周知していきます。また、発達を促す遊びの紹介や園の状況報告などをホームページなどを通じて、今以上に情報発信をしていきたいです。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名	伊勢市おおぞら児童園				公表日	令和7年 2月 26日	
					利用児童数	168	回収数 144
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	2	職員の配置数は適切だと思いますか。	98%	1%	0%	1%	1対1で手厚くみていただいています。感謝です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすい環境設定になっていますか。また、施設の設備はバリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切にされていると思いますか。	99%	0%	0%	1%	
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子どもの活動に合わせた空間になっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	いつもとてもキレイです
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97%	3%	0%	0%	
	6	事業所が公表している支援プログラム(*1)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96%	1%	0%	3%	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析して、個別支援計画が作成されていると思いますか。	98%	2%	0%	0%	
	8	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインに示される提供すべき「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目から必要な支援内容が設定されていると思いますか。	95%	2%	0%	3%	
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	99%	1%	0%	0%	
	10	活動プログラム(*2)が固定化されないように工夫されていると思いますか。	96%	3%	0%	1%	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	74%	8%	6%	12%	・ここで会えるお友達と会うのをとても楽しみにしています 新型コロナウイルス感染症流行以降、未就園児対象の保育所等との交流会を中止しています。今後は交流会の再開を検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	おおぞら児童園を利用する際に、施設運営や療育内容及び支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	99%	0%	0%	1%	
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	・通院している病院にも見学に来ていただいたりとてもありがたい。 ・困りごとのヒアリングからよく拾って支援計画を立てられていると感じます。
	14	家族等も参加できる研修会(保護者学習会)の開催やペアレント・トレーニング(*3)等、家族に対する支援や情報提供の機会等が作られていますか。	88%	7%	1%	4%	・保護者学習会の開催に満足しました。 ・なかなか参加ができませんが、案内され計画をされているのを拝見しています。 今後保護者学習会やペアレント・トレーニングを実施していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの健康や発達の状況について共通理解が出来ていると思いますか。	98%	2%	0%	0%	
	16	定期的に、面談や子育てについて助言等の支援が行われていますか。	96%	3%	0%	1%	・話を聞いて欲しい時にすぐに時間をつくっていただきありがとうございます。 ・軽い話から重い話までよくサポートして下さっています。
	17	職員に共感してもらいながら支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	
	18	保護者交流会の開催等により、保護者同士の交流の機会が作られるなどの家族への支援やきょうだいの相談をする等の、きょうだいへの支援がされていますか。	55%	11%	2%	32%	・保護者交流会は開催されていますが、参加したことはありません ・一人っ子なので、きょうだい支援に頭がまわってませんでした ・参加はなかなかできませんが支援されていると感じます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れを受け入れる体制が整備されていて、それをこどもや保護者に周知・説明されていますか。また、相談や申し入れをした際には、迅速で適切に対応されていますか。	88%	3%	0%	9%	
	20	こどもの保護者と意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	3%	0%	3%	

	21	定期的に通信やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信されていますか。	47%	8%	1%	44%	見た事はありません。すみません。ホームページをあまり見ていない。	自己評価の結果などホームページに掲載していません。今後は、ホームページがある事を保護者に周知していきます。
	22	個人情報の取り扱いに十分留意されていると思いますか。	91%	1%	0%	8%		
非常時等の対応	23	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	73%	7%	0%	20%	掲示板に貼りだされています。訓練はされている様ですが参加は分かりません。	各種マニュアルは、園内に掲示しています。また、発生を想定した訓練は職員のみで行っています。
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難消火訓練等の必要な訓練が行われていますか。	47%	11%	0%	42%	やられていると思います。	定期的に避難消火訓練・防犯訓練等を一部の利用児を対象に実施し、掲示板を通じてお知らせしています。
	25	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われたうえで支援が行われていると思いますか。	90%	2%	0%	8%		
	26	怪我や事故が発生したとき、速やかな連絡や事故の状況について説明がされていると思いますか。	79%	3%	0%	18%	・事故にあった事がない為分かりません ・そうならないように先生方がサポートしてくださっている。	保護者同伴で通園していただいているため、怪我等の事故が発生した時には、すぐに保護者の方に状況説明をしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通園していますか。	95%	2%	0%	3%		
	28	こどもは通園を楽しみにしていますか。	94%	3%	0%	3%		
	29	おおぞら児童園の支援に満足していますか。	96%	1%	0%	3%		

公表

## 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	伊勢市おおぞら児童園		公表日	令和7年 2月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業所の人員、設備及び運営に関する基準」以上のスペースがあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業所の人員、設備及び運営に関する基準」以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		課題に集中しやすい環境設定を行っています。設備等は、バリアフリー化等環境の配慮を適切に行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃や感染症対策として換気、消毒を行い、清潔な環境を作っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こどもが気持ちを落ち着かせるための個別室があり、必要に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		担当者会議・療育会議・職員会議を定期的に行い、支援内容についてPDCAサイクルによる業務改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一回の保護者向け評価表の結果を踏まえて、職員間で共有し業務改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議等で職員から業務改善についての意見を出し合い、その都度改善をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		今年度より第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県や他施設、医療機関等が主催する研修会に参加したり、毎月、園内研修を実施し、職員の質の向上を図っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和7年2月に支援プログラムを公表します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員で立案会議を行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		現在使用しているアセスメントツールの見直しを行っており、令和7年4月より新しいアセスメントツールを使用していく予定です。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは、グループのリーダーを中心として職員間で連携して立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月1回療育会議を行い活動プログラムを検討しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		支援実施毎に反省会をして記録をすることを徹底し、今後の支援に活かしています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		グループの担当職員間で支援の内容や役割分担について具体的に確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		グループの担当職員間でこどもの様子や支援方法について反省会を行っています。必要に応じて専門職の意見を取り入れています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		担当職員以外が見ても分かるように支援提供毎に記録を作成し、支援の検証・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等関係機関と連携して支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所やこども園、幼稚園などに見学に行ったり来てもらったりすると共にサービス担当者会議等で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問支援事業を活用したり、必要に応じ保護者の了承のもと、支援内容の提供を行い情報共有と相互理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	○	○	三重県障害児通園施設等連絡協議会に加入し、情報交換や療育見学をしたり、研修会に参加したりしています。また、サービス担当者会議等で他機関と連携を図っています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		子ども心身発達医療センター等へ訓練の見学に行き助言を受けたり、外部講師の指導を受けたりしています。また、外部研修に参加しています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		伊勢市・志摩市の自立支援協議会こども部会に参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		新型コロナウイルス感染症の流行以降、交流会を中止しています。今後は交流会の再開を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後の保護者へのフィードバック等でこどもの発達の状況や課題について話し共通理解をしている。必要に応じて個別面談も実施しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングを4グループ実施しました。また、保護者学習会を3回実施しました。		
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定・利用者負担金等については契約時に丁寧に説明しています。	支援プログラムについては、これから保護者に丁寧に説明を行っていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童発達支援計画を作成する際には、保護者と個別面談を行いこどもや家族の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族等からの相談に適切に応じ、面談や具体的な支援方法の助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会はないが、保護者交流会を実施しています。また、ペアレント・トレーニングや保護者学習会を通じて保護者同士で交流できる機会を作っています。療育に同行しているきょうだいは、待合室でのきょうだい交流がなされています。	

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		園だよりを月1回、保健だよりを年4回、おそら活動報告だよりなどを発行しています。	今後は、専門職によるたよりの発行を再開していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民を招待する行事は行っていないが、地域の夏祭りのコーナーを担当しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル等は策定しています。職員間で発生を想定した訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定するとともに、災害発生に備えて避難訓練等を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者に聞き取りを行い記録しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	-	-	食事の提供は行っていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎日安全点検を行い、その都度必要な措置を講じています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を掲示し、療育の待ち時間を利用し家族等へ周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの報告書を作成し、朝礼や職員会議で情報共有を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待を防止するために職員の研修機会を確保しています。また、朝礼や職員会議で虐待疑い等の情報共有を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の適正化のための指針を掲示し、保護者への周知に努めています。		